

このモジュールボックスは、
「日本語教育の参照枠」に記載されている
活動Can-do、能力Can-do等の記述を
「基本10モジュール」の観点から、まとめ直したものです。
日本語教育の参照枠と同様に、
授業や活動の**標準を示すものではありません**。
日本語教育に携わる者が実践を考える際の
サポート、ヒントとなることを目指したものであり、
決まった使い方があるわけではなく、各項目間を往還し、
参照枠の記述から発想を得るためのものです。

●モジュールボックスはこんなときに使えます！
クリックでリンクにジャンプします。

動画でチェック！

シートでチェック！

(↑ワークシートのリンク付き)

さあ、さっそく
INDEX からモジュールボックスを始めてみましょう！

〈参考〉
「モジュールボックス」の構成は、以下のpp.8-14をご覧ください。

令和4～5年度 文化庁委託「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業【留学】〈報告〉別添 改訂版
「コースフレームワーク」と「モジュールボックス」を活用したカリキュラムの作り方の例(令和7年3月31日改訂)



モジュールボックス

「日本語教育の参照枠」に示されている各種 Can do を、留学分野の日本語教育機関に在籍する学習者が行うであろう言語活動イメージから大きなモジュール（大項目）ごとに整理したものを

基本 10 モジュール

留学分野の日本語教育機関に在籍する多様な学習者が遂行したいと求める言語活動の具体例を洗い出し、それらを「日本語教育の参照枠」の「活動 Can do」と照合しながら、選定した10項目。

INDEX ページ

基本10モジュールが記載されています。ひとつを選んでクリックすると各モジュールの詳細説明を見ることができます。

各モジュールの説明

このモジュールで行う活動、レベルごとの活動Cando例、具体的な行動例、学習活動例などが記載されています。各モジュールの説明をさらに右にスライドすると、「日本語教育の参照枠」との関連が確認できます。

なぜ「わかめ」？

わかめは岩場にしっかりとしがみついています。そして中心には丈夫な茎があり、海の中でその時々潮の流れによってゆらゆらと自由にその姿を見せてくれています。教師としてしっかりと土台を築き、学習者に合わせて自由な発想で楽しい授業を展開していただけたらという願いをこめて「わかめ」になりました。

一般財団法人 日本語教育振興協会 (モジュールボックスの無断転載・転用を禁止します。)

【留学類型:基本 10モジュール】

* **青字** 部分をクリックすると詳細説明に移動します。

アクセスが集中すると、不具合が生じる場合があります。
その場合はしばらく待ってから再度アクセスしてください。

- 1 授業／講義に参加できる
- 2 グループでの活動に参加できる
- 3 試験の準備・対策ができる
- 4 面接・面談が受けられる
- 5 情報収集ができる

- 6 情報発信ができる
- 7 問い合わせができる
- 8 社交ができる
- 9 手続きができる
- 10 楽しむことができる
- 11 **空白のモジュール**

← 空欄に自由に作成いただけます。

〈参考〉【基本10モジュール】についての説明は、以下のp.13をご覧ください。

令和4～5年度 文化庁委託「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業【留学】
〈報告〉改訂版 (令和7年3月31日改訂)

一般財団法人 日本語教育振興協会（モジュールボックスの無断転載・転用を禁止します。）

1 授業／講義に参加できる

領域			
私的	公的	職業	教育
			○
コミュニケーション言語活動			
理解する	話す	書く	テスト ⁴
聞く	読む	やり取り ¹	発表 ² 書く ³
○	○	○	○ ○
*1…口頭でのやり取り *2…ターンの長い発話を含む *3…書くやり取りを含む *4…ノート・メモ・資料			
INDEX			

【このモジュールで行う活動】			
主に授業／講義などで行う活動の内容や指示、キーワードを理解し、指示に沿って活動したり、まとめて記録に残す活動。 ・他にも会社で議事録を取ったり、窓口で手帳を聞いてメモするなども含まれる。 ・授業／講義の中で配布資料を見ながら話を聞いたり、質疑応答をしたりする活動もあるが、ここでは「聞く」と「テキスト」の活動例を示す。 ・A1レベルの単語を聞き取りメモすることから始まり、B2レベルでは長い話（講義や発表など）の要点をメモから再構成するような能力が求められる。			
レベル	このモジュールの活動 Can do の例	具体的な行動例	学習活動例
B2	自分の専門のかなり複雑な講義の要点が理解でき、まとめて人に見せられるような内容をノートに取ることができる。	・講義／講演やスピーチ、クラスメートの発表のような長い話を聞いて内容や指示を理解する ・理解した内容や指示について、後から見直したり人に説明できるように文章にする ・聞いた音を文字（母語・ひらがな・カタカナ・漢字）で書き取る	・講義動画／音声視聴し、講義ノートの空欄を埋めたり、キーワード／要点のメモを取った後、講義ノートを作成する。（大所狭した友達に見てあげられるようなノート作り） ・講義動画や講師の発言を字幕や実用文の字幕を聞いて、レポートや発表課題のためにメモを取る、箇条書きする。 ・オンラインオープンキャンパスを視聴しながらメモを取り、箇条書きしたいことを考える。
B1	自分の専門で、内容が簡単であれば講義の要点が理解でき、出てきた重要な内容についてリストのような複数の文章にできる。	・講義／講演やスピーチ、クラスメートの発表のような長い話を聞いて内容や指示を理解する ・理解した内容や指示について、後から見直したり人に説明できるように文章にする ・聞いた音を文字（母語・ひらがな・カタカナ・漢字）で書き取る	・クラスメートのあるテーマのプレゼンテーションを聞いてメモを取る。（文レベル） ・初級教材、教員のやさしい日本語の話を聞いてメモを取る。 ・日本語での生活オリエンテーションで必要事項のメモを取る。（ビザ更新や休暇前オリエンテーションなど）
A2	発話がはっきり・ゆっくりしていて内容が簡単であれば、出てきた重要な内容を短い文でメモできる。	・講義／講演やスピーチ、クラスメートの発表のような長い話を聞いて内容や指示を理解する ・理解した内容や指示について、後から見直したり人に説明できるように文章にする ・聞いた音を文字（母語・ひらがな・カタカナ・漢字）で書き取る	・クラスメートの身近な話題についての発表を聞いて、メモを取る。（単語レベルの）わからない言葉を問う。 ・初級教材、教員のやさしい日本語の話を聞いてメモを取る。 ・やさしい日本語で行われた生活オリエンテーションで必要事項のメモを取る。 ・日本語での生活オリエンテーションで必要事項のメモを取る。（ビザ更新や休暇前オリエンテーションなど）
A1	発話がはっきり・ゆっくりしていてもさまざまな配慮があれば、聞いた言葉の一部をメモできる。	・講義／講演やスピーチ、クラスメートの発表のような長い話を聞いて内容や指示を理解する ・理解した内容や指示について、後から見直したり人に説明できるように文章にする ・聞いた音を文字（母語・ひらがな・カタカナ・漢字）で書き取る	・新入生向けのやさしい日本語のオリエンテーションを聞いて重要事項を母語でメモする。 ・初級の教材、教員のやさしい日本語の話を聞いてメモを取る。 ・単語や短文のディクテーションをする。

2 グループでの活動に参加できる

領域			
私的	公的	職業	教育
○	○	○	○
コミュニケーション言語活動			
理解する	話す	書く	テスト ⁴
聞く	読む	やり取り ¹	発表 ² 書く ³
○		○	
*1…口頭でのやり取り *2…ターンの長い発話を含む *3…書くやり取りを含む *4…ノート・メモ・資料			
INDEX			

【このモジュールで行う活動】			
グループでの活動について「協働学習」という観点から、「課題達成」と「集団の形成・維持」に必要な能力を育成する活動。 ・グループでの活動については、レベルが上がるにつれて、問題の答えをお互いに相談しながら進めるものから、そもそも協働的な作業でないといけない活動へと変化することを想定した。 ・教師には「日本語教育」の知識だけでなく、「協働学習」の知識が必要となる。CEFR-CVにおける「概念の仲介（Mediating concepts）」のCan doが参考になる。			
レベル	このモジュールの活動 Can do の例	具体的な行動例	学習活動例
B2	決まった答えのない創造的な課題やその場で状況が変化する活動などに対して、自身およびメンバーの考えの違いがあっても、それぞれの役割を認識しながら集団で課題達成の方向に向かって進めることができる。	・課題の達成を協働的に行う ・協働的な行動がうまくいくような言語的／非言語的なふるまい ・そもそも協働的にしか行えない課題の達成 ・個人のアイデアでは実現し得ない課題の達成	・A1～B1で行われるものと同様の活動。 ・課題の計画やイベントに学生として参加する。 ・公演広告のCM動画を作成する。 ・学習者の企画・運営を行う。 ・後援のための日本語学習教材、アドバイスなどを作成する。
B1	自身の性格や特性に応じたリーダーシップを発揮することができ、課題達成、あるいは集団の形成・維持に貢献することができる。また、決まった答えのない課題に対して、議論や活動が迷走しそうな時に、流れを修正することができる。	・課題の達成を協働的に行う ・協働的な行動がうまくいくような言語的／非言語的なふるまい ・そもそも協働的にしか行えない課題の達成 ・個人のアイデアでは実現し得ない課題の達成	・A1～A2で行われるものと同様の活動。 ・さまざまな課題に対するプロジェクトワーク等の活動。 ・シナリオリーディングなどの協働的な手法で行われる学習活動。 ・グループ活動のための運営方法を習得した上で進める活動。 ・OLJ的な授業中でのプレゼンテーションおよびその準備の活動。
A2	必ずしも決まった表現を用いるわけではないが、グループの形成・維持に貢献するようふるまうことができる。また、決まった答えがある課題でなくとも、メンバーの意見を聞きながら課題達成にグループ全体の方向を進めることができる。	・課題の達成を協働的に行う ・協働的な行動がうまくいくような言語的／非言語的なふるまい ・そもそも協働的にしか行えない課題の達成 ・個人のアイデアでは実現し得ない課題の達成	・さまざまな科目、目的の授業中で行われる協働的な活動（例：会話を例、問題の答え合わせ、ディスカッションなど） ・学校行事等でのクラスやグループ単位の行動。
A1	限られた言語能力であっても非言語コミュニケーション等を使いながら、メンバー、あるいはペア等の単位で課題達成に取り組むことができる。	・課題の達成を協働的に行う ・協働的な行動がうまくいくような言語的／非言語的なふるまい ・そもそも協働的にしか行えない課題の達成 ・個人のアイデアでは実現し得ない課題の達成	・授業中で行われる、問題についての相談などのグループ活動。

3 試験の準備・対策ができる

領域			
私的	公的	職業	教育
		○	○
コミュニケーション言語活動			
理解する	話す	書く	テスト ⁴
聞く	読む	やり取り ¹	発表 ² 書く ³
○	○	○	○ ○
*1…口頭でのやり取り *2…ターンの長い発話を含む *3…書くやり取りを含む *4…ノート・メモ・資料			
INDEX			

【このモジュールで行う活動】			
主に学習者がそれぞれの目標・自身の能力を測定するためにさまざまな形式の試験を受けることを想定し、授業中その対策を解くというよりは教師の解説を聞いて理解したり助けてもらったりという過程を経ながら最終的には自身の現在の能力について客観的に認識し自律的に授業外でも必要な学習を検討していくための活動。試験については選択式から記述式、面接や小論文、研究計画のプレゼンテーションなども想定した。また、日本語の試験以外の各種試験（例：資格試験や運転免許試験など）も想定している。 ・コミュニケーション言語活動だけでなく、言語能力の育成も重視している。 ・A1・A2では母語での説明や教員の助けなどを得ながら、B1・B2では客観的に自分自身を分析し、自律的に学習を自らデザインしている段階へと進む。			
レベル	このモジュールの活動 Can do の例	具体的な行動例	学習活動例
B2	高い文法・語彙能力、聞く・読む・書く能力を持ち、さまざまな形式の試験においては多様な方略を使い分け推測することができる。教員の助けがなくとも、自身の不得手を意識的に観察しそれを踏まえた上で試験の準備や対策をすることができる。	・自分に必要なさまざまな試験を受ける ・予想問題や要点をまとめたメモや単語帳を作る ・試験については自分で傾向対策を調べたり予測する ・自分の得意不得手について客観的に分析する ・試験までやるべきことを自分で計画・準備する	・模範試験を受け、自分で対策（得意不得手の分析、スケジュールも含める）を検討する。 ・試験に出そうな単語のピックアップなどの活動をする。 ・入試問題などにも参加し、慣れたいことを考える。 ・自身の志望する研究に選んだ大学・大学院の指導教員をCNIや大学HP等で見て、研究計画書を作成する。 ・面接での質問の予想と返答の検討をする。
B1	日常生活の上での自分の専門分野に関心のある分野についての文法・語彙能力、聞く・読む・書く能力を持ち、標準的な形式の試験においては自分の関心や専門の分野であれば推測することができる。教員などに助けてもらいながら、自身の不得手を意識し、試験の準備や対策をすることができる。	・自分に必要なさまざまな試験を受ける ・予想問題や要点をまとめたメモや単語帳を作る ・試験については自分で傾向対策を調べたり予測する ・自分の得意不得手について客観的に分析する ・試験までやるべきことを自分で計画・準備する	・模範試験を受け、教員の説明を受けながら対策を検討する。 ・教員の説明や要点をまとめたメモや単語帳を作る。 ・入試問題などにも参加し、慣れたいことを考える。 ・自身の志望する研究に選んだ大学・大学院の指導教員をCNIや大学HP等で見て、研究計画書を作成する。 ・面接での質問の予想と返答の検討をする。
A2	日常生活を送る上で必要な文法・語彙能力、聞く・読む・書く能力を持ち、試験においても自分の身近な範囲の内容であれば推測することができる。複雑な形式でない試験については母語や教員の補助を受けながら回答することができる。	・自分に必要なさまざまな試験を受ける ・予想問題や要点をまとめたメモや単語帳を作る ・試験については自分で傾向対策を調べたり予測する ・自分の得意不得手について客観的に分析する ・試験までやるべきことを自分で計画・準備する	・サイトやチラシ、教員のやさしい日本語の説明を受けながら自分が受けるべき試験の概要について理解する。 ・自分の目的のための試験の準備にアクセスし、申し込みに必要なものを理解し、教員の補助も受けながら申し込み。
A1	日常生活を送る上で最低限の文法・語彙能力、聞く・読む・書く能力を持ち、試験においてもそれらの内容について推測することができる。複雑な形式でない試験については母語や教員の補助を受けながら回答することができる。	・自分に必要なさまざまな試験を受ける ・予想問題や要点をまとめたメモや単語帳を作る ・試験については自分で傾向対策を調べたり予測する ・自分の得意不得手について客観的に分析する ・試験までやるべきことを自分で計画・準備する	・レベル分けテストやインタビューを受ける。 ・学内で行われるいろいろなテストの形式を知る（例：復習テスト、パフォーマンス試験など）。

モジュール1に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					テキスト		コミュニケーション言語方略			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	テキスト		産出	受容	相互行為	言語構造的能力	社会言語的能力	言語運用能力
内容的な理解	内容的な理解	一般的話し言葉のやり取り	協働的な口頭発表	協働的な書く活動	ノート取り（講義やセミナーなど）	社会	産出	受容	相互行為	1. 言語能力	社会言語的能力	ディスコース（談話構成）能力
情動的・人間的に生きていくこと	情動的・人間的に生きていくこと	対話相手の理解	長く一人で話す・討論	制作	テキストの整理	議論			協力	2. 文法能力	情動に反応した柔軟性	
他の話者との対話	他の話者との対話	中級を把握する能力	協働	レポートやエッセイ	エッセイの作成		エッセイリンクと書き		説明を求めること	3. 意味的能力	発話の準備（準備）	
伝達・アナウンス	情報や指示を伝える能力	公的の場でのスピーチ	聴衆の前での発表	一般的に書かれた文書でのやり取り						4. 音声能力	読解の理解	
言語メディアや情報源を調べる	説明書を読むこと	インタビューをする	公共アナウンス	議論						5. 正書法的能力	二語性・三語性	
テレビや映画を見る	非公式の場での話し（友人など）	記録・メッセージ・書き								6. 読字能力	機能的能力	
	目的達成のための計画										話し言葉の立ちまわし	
	読解の支援										読解の正書法	

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール2に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					テキスト		コミュニケーション言語方略			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	テキスト		産出	受容	相互行為	言語構造的能力	社会言語的能力	言語運用能力
内容的な理解	内容的な理解	一般的話し言葉のやり取り	協働的な口頭発表	協働的な書く活動	ノート取り（講義やセミナーなど）	社会	産出	受容	相互行為	1. 言語能力	社会言語的能力	ディスコース（談話構成）能力
情動的・人間的に生きていくこと	情動的・人間的に生きていくこと	対話相手の理解	長く一人で話す・討論	制作	テキストの整理	議論			協力	2. 文法能力	情動に反応した柔軟性	
他の話者との対話	他の話者との対話	中級を把握する能力	協働	レポートやエッセイ	エッセイの作成		エッセイリンクと書き		説明を求めること	3. 意味的能力	発話の準備（準備）	
伝達・アナウンス	情報や指示を伝える能力	公的の場でのスピーチ	聴衆の前での発表	一般的に書かれた文書でのやり取り						4. 音声能力	読解の理解	
言語メディアや情報源を調べる	説明書を読むこと	インタビューをする	公共アナウンス	議論						5. 正書法的能力	二語性・三語性	
テレビや映画を見る	非公式の場での話し（友人など）	記録・メッセージ・書き								6. 読字能力	機能的能力	
	目的達成のための計画										話し言葉の立ちまわし	
	読解の支援										読解の正書法	

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール3に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					テキスト		コミュニケーション言語方略			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	テキスト		産出	受容	相互行為	言語構造的能力	社会言語的能力	言語運用能力
内容的な理解	内容的な理解	一般的話し言葉のやり取り	協働的な口頭発表	協働的な書く活動	ノート取り（講義やセミナーなど）	社会	産出	受容	相互行為	1. 言語能力	社会言語的能力	ディスコース（談話構成）能力
情動的・人間的に生きていくこと	情動的・人間的に生きていくこと	対話相手の理解	長く一人で話す・討論	制作	テキストの整理	議論			協力	2. 文法能力	情動に反応した柔軟性	
他の話者との対話	他の話者との対話	中級を把握する能力	協働	レポートやエッセイ	エッセイの作成		エッセイリンクと書き		説明を求めること	3. 意味的能力	発話の準備（準備）	
伝達・アナウンス	情報や指示を伝える能力	公的の場でのスピーチ	聴衆の前での発表	一般的に書かれた文書でのやり取り						4. 音声能力	読解の理解	
言語メディアや情報源を調べる	説明書を読むこと	インタビューをする	公共アナウンス	議論						5. 正書法的能力	二語性・三語性	
テレビや映画を見る	非公式の場での話し（友人など）	記録・メッセージ・書き								6. 読字能力	機能的能力	
	目的達成のための計画										話し言葉の立ちまわし	
	読解の支援										読解の正書法	

このモジュールに強く関連する枠組み

4 面接・面談が受けられる

領域			
私的	公的	職業	教育
	○	○	○
コミュニケーション言語活動			
理解する	話す		書く
聞く	読む	やり取り ¹⁾	発表 ²⁾ 書く ³⁾
	△	◎	◎
1...口頭でのやり取り 2...ターンの長い発話を含む 3...書くやり取りを含む 4...ノート・メモ・要約			
INDEX			

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2	相手に助けてもらったり、水を向けてもらわなくても、イニシアティブを取ってアイデアを伸長、伸展させた後、強調したい部分を強調しながら流暢に答えることができる。		・教員と1対1での模擬面接。面接の内容は、例えば、自己PR1分＋PR内容について教員からの質問＋面接でよく聞かれる質問を数問で5分程度など、あらかじめ決めておき、ルーブリックも共有し、あらかじめよく準備した上で実施する。
B1	相手からの予想しない質問に的確かつ正確に具体的な情報を述べることができる。	・進路面談 ・進学や就職のための面接 ・病院での診察 ・警察からの質問 ・アルバイト面接	・「私の夢／目標」についてのマインドマップを書いて、それを見せながらペアで話す。夢／目標の説明を聞いた学生はその内容についてさらに具体化できるような質問する。発題時に「私の夢／目標」の発表会を開催することもできる。
A2	より詳しく質問するなどの手助けが得られれば、事実を列挙したり、自分の考えや自分の経験を伝えたりすることができる。		・アルバイトの面接でのシナリオをグループで作成し簡単なロールプレイを行う。 ・日本の大学生を学校に招いて（もしくはオンラインで）ビクターセッション。質問は準備しておくが、基本的にテーマを決めてフリートーク。
A1	ごくゆっくり、はきはきと質問してもらえらるなら、自分についてごく簡単な質問に答えることができる。		・事前に関照を準備して、ごく日常的な内容についてクラスメートとお互いに質問したり答えたりする。 ・プレースメントテストとしてインタビューを受ける。

5 情報収集ができる

領域			
私的	公的	職業	教育
○	○	○	○
コミュニケーション言語活動			
理解する	話す		書く
聞く	読む	やり取り ¹⁾	発表 ²⁾ 書く ³⁾
◎	◎	◎	○
1...口頭でのやり取り 2...ターンの長い発話を含む 3...書くやり取りを含む 4...ノート・メモ・要約			
INDEX			

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2	複雑な事実に基づくテキストや構成が明示的でない長い話などの内容から必要な情報を得ることができる。		・年金事務所を訪ねし、日本の年金制度についての説明を受ける。また、なぜ外国人も年金を支払わなければならないのかなど、外国人の意見や考えを述べたり事務局の方との意見交換を行う。 ・新たな土地での生活準備を行う（例：不動産情報、生活情報、中古品を探す、進学情報など）。
B1	日常的によく使われる表現で書かれた時事問題を扱ったテキストを読んだり、はっきりと話された時事問題などを聞いて理解し、必要な情報を得ることができる。	・学校のオリエンテーションで情報を得る ・告知、放送等の情報を聞く ・掲示板からの情報を読む ・ネットで検索する ・チラシやパンフレットで探す	・大学／専門学校など、希望進学先の情報を調べる（例：パンフレットやHPから学部や学科の詳細な情報を得る、受験に必要な情報を得るなど） ・身近な話題について簡単なネットの記事や新聞記事から情報を得て発表をする（クラス活動） ・最近の気になったトレンドや流行などを調べる。
A2	頻繁に使われる語彙や日常的によく使われる表現を使いながら、知りたい情報を教えてもらうことができる。	・郵送された書類を読む ・公共機関や行政に電話で聞く	・大学／専門学校など、希望進学先の情報を調べる（例：パンフレットやHPから学部や学科の情報を得る） ・進学したい学校のオープンキャンパスの日程を調べる（例：HP、チラシ、パンフレットから必要な情報を得る） ・興味のあるイベントを探す（例：ライブやコンサート、映画などの情報を得る）。
A1	簡単な単語や文を使いながら、自分の要求（手に入れたもの、欲しいもの、したいこと）が何かを相手に分かってもらうことができる。	・友人や先輩、教員に聞く	・生活に必要な情報を得る（例：国際交流協会、市役所、協賛センターなどにある張り紙から必要な情報を得る） ・実際に国際交流協会などに出かけて、必要な情報を得る（例：地震や事故に関する情報、生活に関わる情報など）。

6 情報発信ができる

領域			
私的	公的	職業	教育
○	○	○	○
コミュニケーション言語活動			
理解する	話す		書く
聞く	読む	やり取り ¹⁾	発表 ²⁾ 書く ³⁾
		○	○
1...口頭でのやり取り 2...ターンの長い発話を含む 3...書くやり取りを含む 4...ノート・メモ・要約			
INDEX			

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2	自分の興味関心があることであれば、その場で即興に考えた内容を、ある程度まとまりや創造性を持たせながら、聞き手に伝えることができる。		・進学／就職する際に要求される志望動機や志望理由を書く。 ・政治的発言や明確あるいは留学先の国のあり方や、や高度な話題について、短いエッセイをブログあるいはSNSの記事として投稿する。
B1	自分の興味関心があることや自分の知っている専門分野について、やや複雑な内容であっても、読み手の読みやすさに配慮した、結果性のある文章を書くことができる。	・進学先に提出する志望動機書 ・SNSでの発信 ・スピーチ ・インターネット上での情報発信	・自身の興味関心について、中物宿題やサイトに投稿する。 ・教員や他のコマリタにコメントを返信する。 ・自身の興味関心について、簡単なブログやSNSで発信する。 ・「留学生スピーチコンテスト」などの大会に参加する。
A2	自分に興味のあることであれば、要点を繰り返したり、強調したりして、聞き手により伝わりやすくなるような文章で情報発信することができる。		・SNSに日々自分が感じた生活上の感想などを簡単な文で投稿する。 ・SNSに投稿された、他の言語者の成果物等に対して、自分の意見や簡単な評価をコメントとして投稿する。 ・自分だけでなく、例えば母国の情報などについて、スライドを用いた簡単なプレゼンテーションを行う。
A1	限られた言語材料であっても、必要な情報、主張、説明などを簡単な発話で伝えることができる。		・教員に自分の自己紹介シートなどに自分の基本的な情報を書く。 ・SNSのプロフィール欄などに簡単な自己紹介文を書けることができる。

モジュール4に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					コミュニケーション言語方			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	テキスト	産出	受容	相互行為	言語構造的能力	社会言語能力
包括的な理解	包括的な理解	一般的に話し言葉のやり取り	総合的な口頭理解	総合的な書く活動	ノート取り「読書やビデオテープ」	社会	主語からの発話と生活	多量度の発話と生活	1. 構造的	社会言語的能力
特定の一人として書くこと	読解文を読むこと	対話相手の理解	書く一人で話すこと	制作	テキストの処理	読解	協力	協力	2. 文法能力	ディスコース（談話構成）能力
他の読解者との対話的理解	出書や情報源との対話的理解	会話	書く一人で話すこと	レポートやエッセイ	読解	主語からの発話と生活	協力	協力	3. 意味的能力	言語の理解（構造的）
広報・アナウンス	情報や知識を読むこと	公式の講演とスピーチ	発表の場での講演	協同的な書きかいた発表のやり取り	読解	主語からの発話と生活	協力	協力	4. 運用能力	読解の理解
読解メディアや情報源を聞くこと	読解文を読むこと	対話相手の理解	書く一人で話すこと	制作	テキストの処理	読解	協力	協力	5. 正統性能力	二重性・結実性
テレビや映画を見ること	読解文を読むこと	対話相手の理解	書く一人で話すこと	制作	テキストの処理	読解	協力	協力	6. 読解能力	機能的能力
										話し言葉の成り立ち
										読解の理解

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール5に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					コミュニケーション言語方			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	テキスト	産出	受容	相互行為	言語構造的能力	社会言語能力
包括的な理解	包括的な理解	一般的に話し言葉のやり取り	総合的な口頭理解	総合的な書く活動	ノート取り「読書やビデオテープ」	社会	主語からの発話と生活	多量度の発話と生活	1. 構造的	社会言語的能力
特定の一人として書くこと	読解文を読むこと	対話相手の理解	書く一人で話すこと	制作	テキストの処理	読解	協力	協力	2. 文法能力	ディスコース（談話構成）能力
他の読解者との対話的理解	出書や情報源との対話的理解	会話	書く一人で話すこと	レポートやエッセイ	読解	主語からの発話と生活	協力	協力	3. 意味的能力	言語の理解（構造的）
広報・アナウンス	情報や知識を読むこと	公式の講演とスピーチ	発表の場での講演	協同的な書きかいた発表のやり取り	読解	主語からの発話と生活	協力	協力	4. 運用能力	読解の理解
読解メディアや情報源を聞くこと	読解文を読むこと	対話相手の理解	書く一人で話すこと	制作	テキストの処理	読解	協力	協力	5. 正統性能力	二重性・結実性
テレビや映画を見ること	読解文を読むこと	対話相手の理解	書く一人で話すこと	制作	テキストの処理	読解	協力	協力	6. 読解能力	機能的能力
										話し言葉の成り立ち
										読解の理解

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール6に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					コミュニケーション言語方			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと	テキスト	産出	受容	相互行為	言語構造的能力	社会言語能力
包括的な理解	包括的な理解	一般的に話し言葉のやり取り	総合的な口頭理解	総合的な書く活動	ノート取り「読書やビデオテープ」	社会	主語からの発話と生活	多量度の発話と生活	1. 構造的	社会言語的能力
特定の一人として書くこと	読解文を読むこと	対話相手の理解	書く一人で話すこと	制作	テキストの処理	読解	協力	協力	2. 文法能力	ディスコース（談話構成）能力
他の読解者との対話的理解	出書や情報源との対話的理解	会話	書く一人で話すこと	レポートやエッセイ	読解	主語からの発話と生活	協力	協力	3. 意味的能力	言語の理解（構造的）
広報・アナウンス	情報や知識を読むこと	公式の講演とスピーチ	発表の場での講演	協同的な書きかいた発表のやり取り	読解	主語からの発話と生活	協力	協力	4. 運用能力	読解の理解
読解メディアや情報源を聞くこと	読解文を読むこと	対話相手の理解	書く一人で話すこと	制作	テキストの処理	読解	協力	協力	5. 正統性能力	二重性・結実性
テレビや映画を見ること	読解文を読むこと	対話相手の理解	書く一人で話すこと	制作	テキストの処理	読解	協力	協力	6. 読解能力	機能的能力
										話し言葉の成り立ち
										読解の理解

このモジュールに強く関連する枠組み

7 問い合わせができる

領域			
私的	公的	職業	教育
○	○	○	○
コミュニケーション言語活動			
理解する	話す	書く	テキスト
聞く	読む	やり取り ¹⁾	発表 ²⁾ 書く ³⁾
○	○	◎	◎
1. 口頭でのやり取り 2. ターンの長い発話を含む 3. 書くやり取りを含む 4. ノート・メモ・要約			
INDEX			

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2	複雑な情報を交換しながら、自分の抱える問題について相談したり、説得力のある言葉遣いで交渉の話し合いをしたりすることができる。		・ケーススタディ：ケースを読み、グループやクラスで問題を分析し、解決策を導き出したし、それぞれの立場になってディスカッションを行ったりする。 ・ディベート大会：論議となる資料を集め、公開ディベートを行う。聴衆がジャッジとなり勝敗を決定する。
B1	非日常的な状況でも相手に合わせて事実情報を交換・チェックして正確な情報が確認できたり、詳細な説明を求めてさらに細かい情報を得たりすることができる。	・買い物 ・銀行、郵便局、駅、役所 ・荷物の受け取り ・不在連絡票 ・ポランディア参加	・大学／専門学校の関係者に来ていただき、進学説明会を実施。一方的に説明を聞くだけでなく、学生の質問タイムを設けて積極的に質問する。 ・公共施設（図書館や交流センターなど）をウェブサイトで下調べしてから、施設に行つて質問し、記事や報告としてまとめる
A2	自分にとって必要な、複雑ではない情報について、口頭もしくはメール等で、疑問点について質問することができる。	・不在連絡票 ・買い物の交換や返品 ・事故の対応	・不在連絡票の対処方法、ごみの捨て方など、日本の生活TIPSについて調べ、ポスターを作成して、ポスターセッションを実施。ポスターの内容を説明したり、その説明を聞いた人はそれについて質問する。
A1	直接必要なことやごく身近な話題について、簡単な質問をしたり、答えたりすることができる。		・図書館や水族館などに実際に電話をかけ、営業時間と休みの日を聞いてクラスメートに報告する。 ・クラスメートに、各国の銀行の時間、小学生の夏休みの期間、小売店のジュースの値段などを質問する。

8 社交ができる

領域			
私的	公的	職業	教育
○		○	
コミュニケーション言語活動			
理解する	話す	書く	テキスト
聞く	読む	やり取り ¹⁾	発表 ²⁾ 書く ³⁾
		◎	△
1. 口頭でのやり取り 2. ターンの長い発話を含む 3. 書くやり取りを含む 4. ノート・メモ・要約			
INDEX			

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2	社会的側面が異なる相手でも配慮をしながら友好的に話や文字でのコミュニケーションをとることができる。 自分の抱える問題を説明し、その対応について相談・交渉することができる。		・地域住民や学校周辺にある大学の学生らとの意見交換会。共生社会の課題や異文化コミュニケーションに関する話題を取り上げ、これまでに学習してきたこととのように関連するか考える。
B1	非日常的な状況でも相手に合わせて事実情報を交換・チェックし、情報の確認ができる。 複雑でも自由度の高い会話や、即断性のあるやり取りができる。	・雑談をする ・人を誘う ・学校の仲間と話し合う	・学校の周辺や自分たちの生活圏内におけるインチャビュ活動を行う。 ・自分に興味のあるテーマについて話し、質疑応答も行う。 ・方言、サマシ日本語、若者言葉、多様な発声表現といった日本語のバリエーションについて実例を収集しながら学習する。
A2	テーマに沿って、自由度の高いやり取りができる。自分ややり取りの相手に理解できない場合にはお互いに助け合つて課題を達成できる。 身近な話題について、情報を伝達しながら、自分の意見や感想を述べるることができる。	・相手の都合や立場を配慮しながら様々なやり取りを行う ・さまざまな場面にふさわしい挨拶をする	・テーマに沿った自由会話や意見交換をグループで行う。
A1	身近な話題について、簡単な質問をしたり、答えたりすることができる。		・登下校、入退室、自分や他人の紹介、外出時に知人とすれ違うなど様々な場面にあつた挨拶をする。

9 手続きができる

領域			
私的	公的	職業	教育
	○	○	○
コミュニケーション言語活動			
理解する	話す	書く	テキスト
聞く	読む	やり取り ¹⁾	発表 ²⁾ 書く ³⁾
○	○	◎	△
1. 口頭でのやり取り 2. ターンの長い発話を含む 3. 書くやり取りを含む 4. ノート・メモ・要約			
INDEX			

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2	適宜、自分が正しく理解できているかといった社会的な方略を用いながら、公共サービスを利用する上での手続きなどを示された文書の内容の中から必要な情報を正しく理解し、行動することができる。また、口頭でのやり取りによって担当者と窓口の人に尋ね、他者の補助を受けながら目的が果たせる。		・フィールドトリップ活動：クラス、グループ単位での校外学習時に、見学する施設の利用申請を行う。 ・学校の行事や活動の参加：会費利用の申し込みに、（仮設的な活動として教室内でロールプレイを行うといった方法もある。） ・消費財や金品コンテスト：限られた予算内で、あるテーマに基づいた調査目的の旅行をするといった活動を想定し、グループごとに企画を立ててもらう。訪問先の施設情報、申し込み方法などを聞き取ったり、施設利用申請書などを取り寄せたりし、教室内で仮設的な調査旅行を企画する。
B1	ふだん日常的に行っているような状況においては、自分の目的に合った手続きなどにほとんど対応できる。必要に応じ、場面にふさわしい待受表現を用いて、依頼、相談、許可を求めることができる。また、口頭でのやり取りを通じて、他者の補助を受けながらほとんどの手続きに対応できる。	・病院や薬局の窓口での手続き ・役所や駅などの手で手続き ・進学の際の出願、入学手続き	・進学や就職を想定した必要な各種手続きの練習：履歴書、個人情報書、エントリーシートの書き方、封書での手紙の書き方、資料請求の練習、E-mailの送付等。 ・学校の行事や活動の参加：手続きを行う練習：学習者はペアになり一人が行う各種申請、事務所や学校機関の貸し出し手続き等を行う様子をもつ一人がビデオ撮影するなどしてピアチェックを行う。 ・学習者の利用する近隣の公共施設、トレーニングジム、体統講習会などの実際の申込書や、入力フォームを用意し、練習を行う。
A2	予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 身近な生活や仕事における日々の事例について、直接的で簡単な情報交換をしながら通常のタスクを達成できる。 非常に短い社会的なやり取りに対応できる。	・自習室や会議室の予約 ・入居や、電気、水道、ガス、通達の契約手続き	・間診前、予約の記入：病院で診察を受けたり、ワクチン接種の際の手続きの書き方の練習を行ったり、診察の場面などでよく見かける診察の表現について調べ、確認する。
A1	非常に基本的で自分に関する内容なら、公共のアナウンスを聞き取ったり、名前や住所を書くなどの簡単な手続きが行える。		・引っ越しの際の役所での転出・転入の手続き、各種申し込み手続き、医療機関での診察時の問診票など生活場面において日常的に自分の名前や住所などを記述する場面を想定し、意図的に学校活動の中に身近な情報を書く作業を取り入れる。例えば学校行事は、数か月ほど定期的に住所の確認をしたり、学校の交流イベントの申込書の作成も、こういった練習の機会として位置付ける。

モジュール7に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					テキスト	コミュニケーション言語方略			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと		産出	受容	相互行為	言語構造的な能力	社会言語能力	言語運用能力
包括的な理解	包括的な理解	一時的に読み、理解すること	総合的な口頭理解	総合的な書く活動	ノート取り（読書やビデオなど）	社会	主観的な意見と主張	主観的な意見（個人）	主観的な意見（個人）	社会言語的知識	ディスコース（談話構成）能力
読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく
他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話
広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと
テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール8に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					テキスト	コミュニケーション言語方略			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと		産出	受容	相互行為	言語構造的な能力	社会言語能力	言語運用能力
包括的な理解	包括的な理解	一時的に読み、理解することを含む	総合的な口頭理解	総合的な書く活動	ノート取り（読書やビデオなど）	読書	主観的な意見と主張	主観的な意見（個人）	① 読解能力	社会言語的知識	ディスコース（談話構成）能力
読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読書	主観的な意見と主張	主観的な意見（個人）	② 読解能力	社会言語的知識	ディスコース（談話構成）能力
他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	読書	主観的な意見と主張	主観的な意見（個人）	③ 読解能力	社会言語的知識	ディスコース（談話構成）能力
広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	読書	主観的な意見と主張	主観的な意見（個人）	④ 読解能力	社会言語的知識	ディスコース（談話構成）能力
テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	読書	主観的な意見と主張	主観的な意見（個人）	⑤ 読解能力	社会言語的知識	ディスコース（談話構成）能力

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール9に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） *青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション言語活動					テキスト	コミュニケーション言語方略			コミュニケーション言語能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと		産出	受容	相互行為	言語構造的な能力	社会言語能力	言語運用能力
包括的な理解	包括的な理解	一時的に読み、理解することの練習	総合的な口頭理解	総合的な書く活動	ノート取り（読書やビデオなど）	社会	主観的な意見と主張	受容者の取得（仮説）	① 読解能力	社会言語的知識	ディスコース（談話構成）能力
読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく	読者の一人として生きていく
他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話	他の読者との対話
広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	広報・アナウンスや掲示を聞くこと	② 意味的能力	読者の理解（仮説）	読者の理解（仮説）
テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	テレビや映画を見ること	③ 推察的能力	読者の理解（仮説）	読者の理解（仮説）
									④ 音声能力	読者の理解（仮説）	読者の理解（仮説）
									⑤ 正読書の能力	読者の理解（仮説）	読者の理解（仮説）
									⑥ 構字能力	読者の理解（仮説）	読者の理解（仮説）

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュールボックス (Version 1.1) 2025.03.31.xlsx

モジュールボックス

一般財団法人 日本語教育振興協会（モジュールボックスの無断転載・転用を禁止します。）

10 楽しむことができる

領域				テスト ⁴
私的	公的	職業	教育	
○			○	

コミュニケーション言語活動				
理解する		話す	書く	テスト ⁴
聞く	読む	やり取り ¹ 発表 ²	書く ³	
○	○		○	

¹1. 口頭でのやり取り
²2. ターンの早い会話を含む
³3. 書くやり取りを含む
⁴4. フォート・メモ・資料

INDEX

【このモジュールで行う活動】
主に個人に開かれた活動

- ・主に個々に興味のあることを楽しみ、人生をより豊かにするための活動。
- ・他に、自分の興味のあることとつながる新しい分野の楽しみを見つけ、それらを楽しみながら自らの世界を広げることイメージしている。
- ・Aレベルでは個人的に楽しむことを想定、Bレベルでは、自分の専門や興味があることからつながりのある新しい分野へ足を踏み入れることで楽しむ範囲を広げること想定している。

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2	自分が興味関心のある事柄やそれにつながるものがある新しい分野にも目を向けながらより広く深く楽しむことができる。	・ドラマ、映画、動画などを観る	・ドラマや映画、小説など各自紹介したことを準備し、クラスや学校の友人に紹介する。 ・クラスやグループを境を超えて集まり、共通点を見つけてそれについて話し合う。新しい情報を得るなどの交流活動をする。 ・オンライン交流として、同年齢の人たちと興味のある事柄や、大学の専門的な学習内容/好きな科目に就ける機会を作る。
B1	興味関心のあることをより広い範囲で深く楽しむことができる。	・漫画や小説を読む ・音楽を聴く ・オンラインゲームをする ・友達とおしゃべりする ・パーティーに参加する ・スポーツをする	・実際にに行っている地域のイベントに参加し、地域交流を通じて知ったこと、分かったことと国との違いなどをクラスメートと共有する (例: 餅大会、祭典など)。 ・オンライン交流やプラットフォームを通じて興味や興味があることについて話す機会を作る。
A2	個人的に興味関心のあることを少し範囲を広げて楽しむことができる。	・地域のイベントに参加する ・旅行に行く ・料理を作る ・コンサートやライブに行く ・食事に行く	・趣味のイベントを探し、参加する (例: 地域のイベント、コンサート、映画など)。 ・好きな映画や音楽をクラスメートに紹介したり、クラスメートから教えてもらい、楽しみの幅を増やす。 ・自分で行ったレストランや店などおもしろい情報をお互いに教える。
A1	個人的に興味関心のあることを楽しむことができる。		・クラスで自己紹介し、互いに共通の趣味や興味について情報交換する。 ・市役所や図書館、国際交流協会などへ出かけて主要な施設にどのような施設があるのかを確認する。 ・身近にどんなイベントがあるのかを話し合い、友達と一緒に参加する。イベントに参加した経験から参加する方法など聞く。

11

【このモジュールで行う活動】

領域				
私的	公的	職業	教育	
コミュニケーション言語活動				
理解する		話す		書く
聞く	読む	やり取り 1	発表 ²	書く ³
				テキスト ⁴

¹、口頭でのやり取り
²、ターンの取り合い/発話を含む
³、書く/やり取りを含む
⁴、ノート・メモ・要約

INDEX

【このモジュールで行う活動】

レベル	このモジュールの活動Can doの例	具体的な行動例	学習活動例
B2			
B1			
A2			
A1			

モジュール10に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） * 青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション基礎活動					テキスト	コミュニケーション基礎力			コミュニケーション基礎能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと		发出	受信	相互行為	言語理解的能力	社会基礎能力	言語運用能力
社会的な規範	社会的な規範	一時的な話し言葉の状況	社会的に行き来する状況	社会的な書く活動	ノート取り（読み取れず取り返す）	言語	言語からの発信と受信	言語からの受信/発信	① 理解能力	社会生活に必要な能力	ディスコース（語彙知識）の活用
聞き手一人一人の状況に合わせる	聞き手一人一人の状況に合わせる	話し相手の理解	長く一人で話す・聴き取れ	制作	テキストの整理	聴解		協力	② 文法能力	状況に応じた言葉の選択	
相手の話や物・状況の理解	相手の話や物・状況の理解	話を聞き取るために読むこと	長く一人で話す・話を聞き取るために読むこと	レポートやエッセイ		モニタリングと編集		説明を求めること	③ 意味的能力	状況の理解（背景知識）	
文脈・アナウンスや指示を聞くこと	文脈・アナウンスや指示を聞くこと	情報や指示を読むこと	公式の通知とモニタリング	短歌などの鑑賞	一時的な書きかけの書き出しのやりとり				④ 音声的能力	状況の理解	
音声メディアや動画を見て聞くこと	音声メディアや動画を見て聞くこと	読解書を読むこと	インタビューをとる・受けること	公開アナウンス	通話				⑤ 正語法的能力	一時的に読解性	
テレビや映像を見ること	テレビや映像を見ること		自分の話（主張）を伝えること	記録・メッセージ・書式					⑥ 読字能力	機能的能力	
			社会生活に必要な能力の活用							⑦ 言葉の活用能力	
			製品やサービスの内容を知るための取引							⑧ 状況の理解	
			情報の交換								

このモジュールに強く関連する枠組み

モジュール11に強く関連する「日本語教育の参照枠」の枠組み（黄色の部分） * 青字はすべてレベルごとの能力記述文にリンクしています。

コミュニケーション意識活動					テキスト	コミュニケーション意識力			コミュニケーション意識能力		
聞くこと	読むこと	やり取り	発表	書くこと		发出	受容	相互行為	言語運送能力	社会言語能力	言語運用能力
包括的な理解	包括的な理解	一般的な話し言葉のやり取り	社会的に行き渡り	社会的な書き流	ノート取り（読書やセミナーなど）	対話	主観的・客観的 と意識	全知視の取捨 / 保 持	① 読解能力	社会言語的な文 法	ディスコース （語話構成）能力
聴者の人となり を正確に聞く	通読文を読むこと	包括相手の理解	聴者一人で見ず、 対話的	制作	テキストの処理	聴解		協力	② 文法能力		言語にない社会 能力
他の話者相手の対 話の理解	言語を記憶するた めに読むこと	会話	聴者一人で見ず、 対話的	レポートやエッセ イ 制作を促すこと		モニタリングと鑑 定		説明を促すこと	③ 聴解能力		言語の組織 / 保 持 能力
依頼・アナウンス や指示を聞くこと	通読文を読むこと	公的の議論とモニ タリング	聴者の場での議論	公的アナウンス					④ 音声能力		読解の要因
音声メディアや録 音を書くこと	通読文を読むこと	公的アナウンス	通読						⑤ 正書法の能力		一貫性と結束性
テレビや映画を見 る	通読文を読むこと	非公的の議論（人 人との）	非公的の議論（人 人との）						⑥ 読字能力		機能的能力
		目的達成のための 対話的書									読に重要な読み 手
		読取サービスを通 するものの提供									読者の正確さ
		書籍の交換									

：このモジュールに強く関連する枠組み